

福山リサイクル発電(株)の事業終了・会社清算に向けた対応について

1 要旨

福山リサイクル発電株式会社（以下、「FRPC」という。）は、一般廃棄物広域処理とサーマルリサイクルを通じた環境、資源、エネルギー対策を進めることを目的として、民間企業、県、市町等の出資により平成12年度に設立された。

平成16年4月以降、RDF（ごみ固形化燃料）を利用した発電・売電等の事業を、収益を上げながら順調に実施し、令和6年3月に予定通り事業を終了している。

事業終了以降、会社清算に向けた手続きを進め、今般、会社清算への対応方針がまとまったので、報告する。

2 事業概要

名称	福山リサイクル発電株式会社（FRPC）	資本金	16億円
施設所在地	福山市箕沖町107-8	設立時期	平成12年5月24日
出資内訳	J F Eエンジニアリング(株)(JFEE)33.75%(5.4億円)、広島県25%(4億円)、環境保全公社16.06%(2.57億円)、参画7市2町合計25.19%(4.03億円) (福山市、府中市、大竹市、廿日市市、尾道市、三原市、庄原市、世羅町、神石高原町)		
事業期間	H16.4～H31.4（当初予定期間） H31.4～R6.3（事業延長期間）		
事業内容	1 一般廃棄物から製造した固形燃料（RDF）の受入、貯蔵、焼却 2 発電、売電、熔融スラグの有効利用		
施設概要	1 敷地面積：約26,000m ² 2 処理施設規模：約314t-RDF/日 3 発電出力：約20,000kW 4 主要施設：RDF発電施設、RDF貯蔵施設		

3 会社清算の対応方針

- 資本金も含めた残余財産（約31億円）の中で、清算に必要な経費を捻出する。
- 必要な経費のうち、最も支出額が大きい解体撤去費用については、施設解体撤去に向けて約11億円を資産除去債務として計上していたが、物価高騰や追加工事（基礎杭撤去）に伴い、施設解体撤去費が約29億円となる見込。
- なお、本事業については、これまでに出资额の1.4倍の配当が行われている。
- 解体撤去後の土地は、福山市が廃棄物処理施設の整備用地としての利活用を検討中。

【表1 支出見込額及び残余財産等】

支出見込額（億円）		残余財産等（億円）	
解体撤去費	28.6	資産除去債務	11.0
その他管理費	2.4	利益剰余金	3.6
—	—	資本金	16.0
—	—	還付金等	0.4
合計	31.0	合計	31.0

4 今後のスケジュール（予定）

令和7年10月以降 解体工事に着手
 11月 会社解散手続き開始。清算法人へ移行。
 令和8～9年度 解体工事の実施（令和10年3月末完了）
 令和10年5月 清算終了

【表2 株主の出資金及び累積配当額】

出資団体	株数	出資割合（%）	出資額（百万円）	累積配当額（百万円）
JFEE	10,800	33.75	540	756.0
広島県	8,000	25.00	400	560.0
環境保全公社	5,140	16.06	257	359.8
福山市	5,240	16.38	262	366.8
廿日市市	1,220	3.81	61	85.4
府中市	580	1.81	29	40.6
大竹市	480	1.50	24	33.6
世羅町	160	0.50	8	11.2
庄原市	160	0.50	8	11.2
神石高原町	140	0.44	7	9.8
尾道市	60	0.19	3	4.2
三原市	20	0.06	1	1.4
合計	32,000	100	1,600	2,240

【福山リサイクル発電周辺図】

